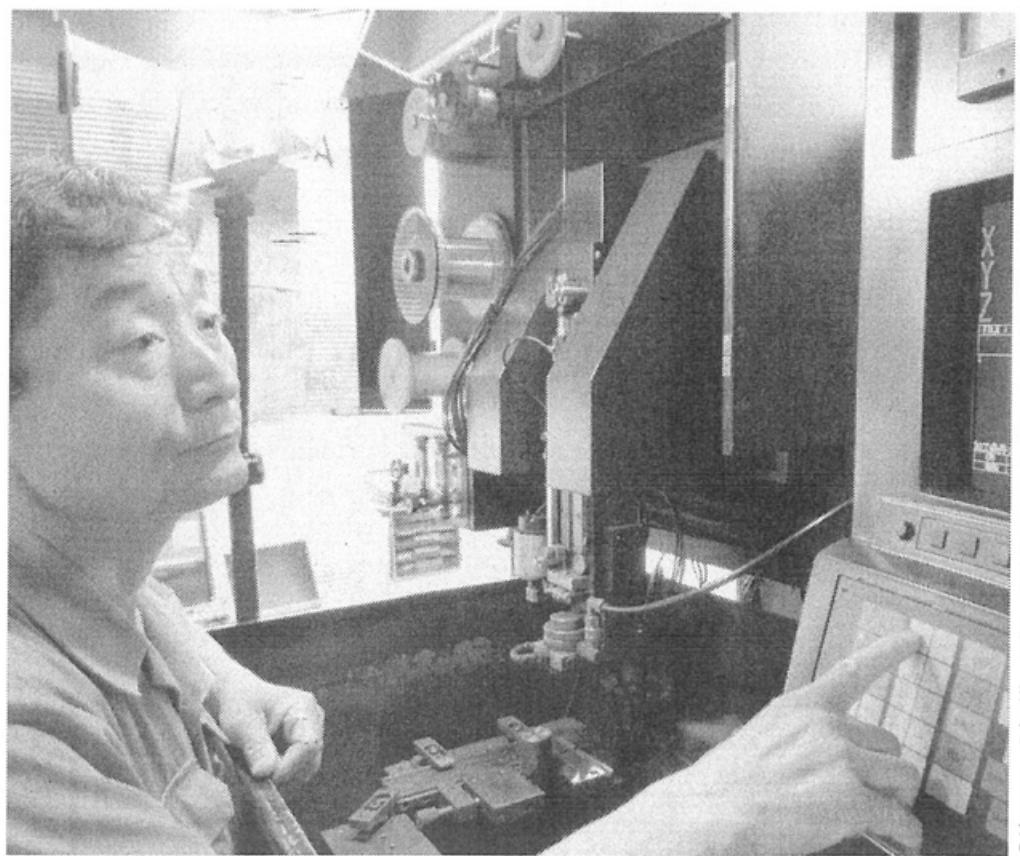


町工場の技

モノづくり支える

★63★



NKEの看板製品の一
つであるエアチャック。
丸棒ハンドリングなどに
使われる「コレット型」
と呼ばれる特殊品を手が
けるのは、この道45年の歴史

浅井良一さん(写真)だ。
材料の丸棒を旋盤で外
径、内径を削る。フライ
ス盤でバネを仕込む穴を
開け、ワイヤ放電加工機
で穴の内径の精度を仕上げ、最後にバレル研磨や
バリ取りで最終仕上げとなる。精度は100分の1
である。

NKE

チャック精度 “作り込み”に快感

1. 構成オーダーで「基幹製品だけに精度の不具合は致命傷」だ。
定時制高校に通いながら旋盤やフライス盤で工業用ミシンや油圧機器の部品加工に明け暮れた。「加工条件を探り、期待通りの精度が実現した瞬間が快感」という。

若い同僚からは精度が出ないなどの相談が寄せられるが、「數をこなして経験を積む」と「機械の性能に頼っては作り込めない」「作ってしまってからは品質は戻らない」「仕事終わりの保守など当たり前のことを当たり前にやる」と金言が返ってくる。

現在、誰もが浅井さんのように加工できるよう技術伝承の準備を進めている。現場イノベーションの源となる。

▽社長：中村道一氏▽所
在地：京都府長岡京市、
075-931-053
2▽売上高：約20億円
(14年3月期)▽従業員
125人▽設立：69年